

平成30年度 百合丘高等学校 年間指導計画

教科・科目	美術・構成	学年	第3学年	教科書	
		単位数	2単位	副教材	

学習目標	造形的な創造活動の基本となる諸要素理解を深め、感性や造形感覚と創造的な構成の能力を高める。
------	---

学習方法	○平面構成の制作を通して形体や色彩の造形的諸要素について学び造形感覚を高めます。 ○独創的な主題を生成し、表現の構想を練ることを学びます。 ○作品や作者の個性などに関心を持ち、発想や構想の独自性、表現の工夫などについて多様な視点から分析し理解できるように学びます。
------	--

学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨	
	a	美術への関心・意欲・態度	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	
b	発想や構想の能力	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し創造的な表現の構想を練っている。		
c	創造的な技能	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫して表している。		
d	鑑賞の能力	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。		

学期	内容のまとめ	時数	単元(題材)	学習内容	評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
					a	b	c	d		
前期	A 表現(1) 平面構成 B 鑑賞	14	平面構成基礎①	課題の把握と構想	○			○	a: 表現したい主題を自ら生成するために、自らの内面に働きかけている。 b: 色彩と形体、空間、均衡や動静などの造形要素を理解し表現の構想を練ることができる。 c: 材料や用具の創造的な活かし方などを工夫している。 d: 作品の良さや美しさを深く味わい、題材のとらえ方や表現の仕方の良さを感じ取ることができる。	<ul style="list-style-type: none"> 活動観察 アイディアスケッチ 作品 作品発表 鑑賞
			制作			○	○			
		14	平面構成基礎②	課題の把握と構想	○			○	a: 表現したい主題を自ら生成するために、自らの内面に働きかけている。 b: 色彩と形体、空間、均衡や動静などの造形要素を理解し表現の構想を練ることができる。 c: スケッチやデッサンを繰り返し行い、対象の特徴をつかむ力を身につけている。 d: 形や色彩によって生まれる感情や美しさなど表現効果を考えた構成を試みることができる。	<ul style="list-style-type: none"> 活動観察 アイディアスケッチ 作品 作品発表 鑑賞
			制作			○	○			
後期	A 表現(1) 平面構成 B 鑑賞	18	平面構成応用「喜怒哀楽」	課題の把握と構想	○			○	a: 表現したい主題を自ら生成するために、自らの内面に働きかけている。 b: 色彩と形体、空間、均衡や動静などの造形要素を理解し表現の構想を練ることができる。 c: スケッチやデッサンを繰り返し行い、対象の特徴をつかむ力を身につけている。 d: 自然の中の美的秩序や美しい空間を発見し、それらの美しさや良さを味わうことができる。	<ul style="list-style-type: none"> 活動観察 アイディアスケッチ 作品 作品発表 鑑賞
			制作			○	○			
		18	平面構成「コラージュ」	課題の把握と構想	○			○	a: 表現したい主題を自ら生成するために、自らの内面に働きかけている。 b: 色彩と形体、空間、均衡や動静などの造形要素を理解し表現の構想を練ることができる。 c: スケッチやデッサンを繰り返し行い、対象の特徴をつかむ力を身につけている。 d: 形や色彩によって生まれる感情や美しさなど表現効果を考えた構成を試みることができる。	<ul style="list-style-type: none"> 活動観察 アイディアスケッチ 作品 作品発表 鑑賞
制作			○	○						
合計時数(55分授業)		64								